



日英中トライリンガル育成のための高大接続

事業報告書

2018（平成30）年度

杏林大学 事業報告書

目次

I. ごあいさつ

高大連携が生む新しい教育のかたち 学長 大瀧 純一 ……………	1
より充実した大学生活を可能にする高大接続 高大接続推進室長 稲垣 大輔 ……………	2

II. 事業概要・計画

…………… 3

III. 事業実績と成果の概要

大学教育再生加速プログラム テーマⅢ(高大接続) 「日英中トライリンガル育成のための高大接続」 平成 30 年度実績概要 ……………	7
--	---

IV. 事業実績の具体的内容

〈運営〉	
1. 事業体制の継続 ……………	18
〈高大接続〉	
2. 「杏林 AP ラウンドテーブル」の開催 ……	19
3. 連携協定書の調印 ……………	22
4. 高校と大学をつなぐ FD / SD の開催 ……	23
5. 連携高等学校との意見交換 ……………	25
〈行事／教育〉	
6. ライティングセンターの活動実績と成果 …	28
Kyorin Writing Center Annual Report 2018-2019	

7. アドバンスト・プレイスメントの実施と 生徒募集 ……………	34
8. 大学教養レベル「グローバル関連科目」 高校生への開放 ……………	38
9. グローバル関連科目・COC 関連科目の 高校生への開放 ……………	39
10. 日英中トライリンガルキャンプの実施 …	40
11. 英語キャンプの実施 ……………	42
12. 中国語研修の実施 ……………	43
13. プレゼンテーションコンテストの実施 …	44
14. グローバル AP 「同時通訳ブース見学会」の 実施 ……………	46
15. IELTS 対策講座の実施 ……………	47
16. ルーブリックの入学試験での利用 ……	48
17. 高等学校での講演 ……………	49
〈波及効果〉	
18. 中高生と大学生の高大連携ボランティア活動 ……………	53
19. 都立青梅総合高等学校と昭和鉄道高等学校の 生徒がインターンシップを体験 ……	55
20. 都立三鷹中等教育学校生徒が職場見学与 職場体験 ……………	56
21. 聖徳学園高校生がモデル生物を用いた 体験実習 ……………	57

22. 総合政策学部 馬田啓一賞を茨城県立藤代
高校生徒が受賞 …………… 58

23. 都立調布南高校の学校運営連絡協議会に出席
…………… 58

〈広報活動〉

24. 広報・取材 …………… 59

25. 平成 29 年度の事業報告書の作成と配布
…………… 61

〈会議開催日程一覧〉

26. 杏林 AP 推進委員会 …………… 62

27. 高大接続推進委員会 …………… 63

V. 事業の評価：平成 29 年度事業を対象に

第三者評価委員会の開催と評価結果…………… 64

VI. 事業推進組織 委員一覧

…………… 67

I. ごあいさつ

高大連携が生む 新しい教育のかたち

学長 大瀧 純一



わが国では少子高齢化が進み、未来を導き支える人材の養成が求められる中、学校教育において様々な改革が行われております。具体的には2018年度から小学校で英語が教科になるなど、教育の内容が大きく変わり、教育改革が進められています。語学を重視した教育が一つの流れとなっていると言えます。

こうした中、杏林大学では、2012年度には外国語学部を中心とする文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択され、教育のグローバル化を目指していましたが、2014年度文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」にも採択されました。テーマは「日英中トライリンガル育成のための高大接続」です。年度を経るにしたがい、取り組み中心学部である外国語学部のみならず総合政策学部にも取り組みが波及し、高校生に対する大学レベルの教育の提供が行われております。

一方、高校側との連絡を密にするため、高大接続ラウンドテーブルの定期的な開催を行い、意見交換の場を設定し、きめ細かな対応をしております。それらの連携体制の結果、参加高校も増加し今日に至っております。高校生がしっかりと目的意識を持って大学に入学でき、入学後の学習がスムーズに行えるように教育目的や教育方法の開発と、しっかりと学習成果の評価を行える仕組みを、高校の先生と共に進めて行っております。

地域貢献の重要性とグローバル化がともに進む経済社会の中、これからの人材養成について、教育関係者のみならず皆様方のご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

より充実した大学生活を 可能にする高大接続

高大接続推進室長 稲垣 大輔



平成 26 年度大学教育再生加速プログラム（AP）テーマⅢ：高大接続として採択された事業は、「日英中トライリンガル育成のための高大接続」です。一昨年度は中間評価を受審し、「A」評価をいただきました。

本事業は、グローバル人材育成に積極的に取り組んでいる高等学校との高大連携・高大接続を主眼として、より効率的かつ効果的にグローバル人材育成を加速させることを目的としています。採択後、毎年、日英中トライリンガルキャンプという宿泊型学修機会を提供し、留学経験者や海外からの留学生を中心とする本学学部生と、グローバル人材になることを目指す高校生の皆さんに、学年や学校の枠を超えて交流し、英語・中国語・日本語の重要性を実体験してもらっています。

昨年度は、井の頭キャンパスにある保健学部、総合政策学部、外国語学部の 3 学部が、夏季休業期間に 4 科目の高校生対象の大学教養レベル「グローバル関連科目」を開講しました。10 月の大学祭時には、高大接続した形での英語・中国語プレゼンテーションコンテストを実施しています。ライティングセンターでは、特任講師の指導のもと、学部 3・4 年生の上級生がピアチューターとして下級生や高校生の語学力向上のための学修支援に取り組んでいます。高校生対象のライティングセミナーも実施し、高校生の自己表現能力の向上に一役買っています。一方、教職員も、グローバル人材育成に積極的に取り組んでいる高等学校関係者と、互いの教育目標や教育内容・方法についての相互理解を図るため、杏林 AP ラウンドテーブルと呼ぶ意見交換会を継続開催し、13 回を数えます。

一昨年度、高校生が大学の開講科目を履修し、大学入学後に大学の卒業に必要な単位として認定するアドバンスト・プレイスメントを開始し、昨年度は夏季集中科目として保健学部・総合政策学部・外国語学部で科目を追加開講しました。桜美林大学、共愛学園前橋国際大学、創価大学の 3 大学とも単位互換協定を締結し、より多くの大学で高校時に杏林大学で修得した単位を認めてもらえるよう制度普及を図っています。

アドバンスト・プレイスメントにより本学で単位を取得した高校生が大学に入学し、入学後、卒業に必要な単位として認定されました。より多くの高校生の皆さんが、このアドバンスト・プレイスメントという制度を用いて、大学入学後に留学にチャレンジしたり、主体的に学びの質を向上させ、より充実した大学生活を送っていただきたいと願っています。

本事業に対し、引続き皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Ⅱ. 事業概要・計画

本事業は、平成24年度に文科省補助事業のグローバル人材育成事業に採択されたことを受け、その成果を高大接続にも波及させることを目的としている。

4つの柱として、①アドバンストプレイスメント制度の導入、②ルーブリックの開発と入試での使用、③高校生と大学生が共に学ぶ多彩な学修イベントの開催、④英語のライティング力の向上のためのライティングセンターの設置と運営である。

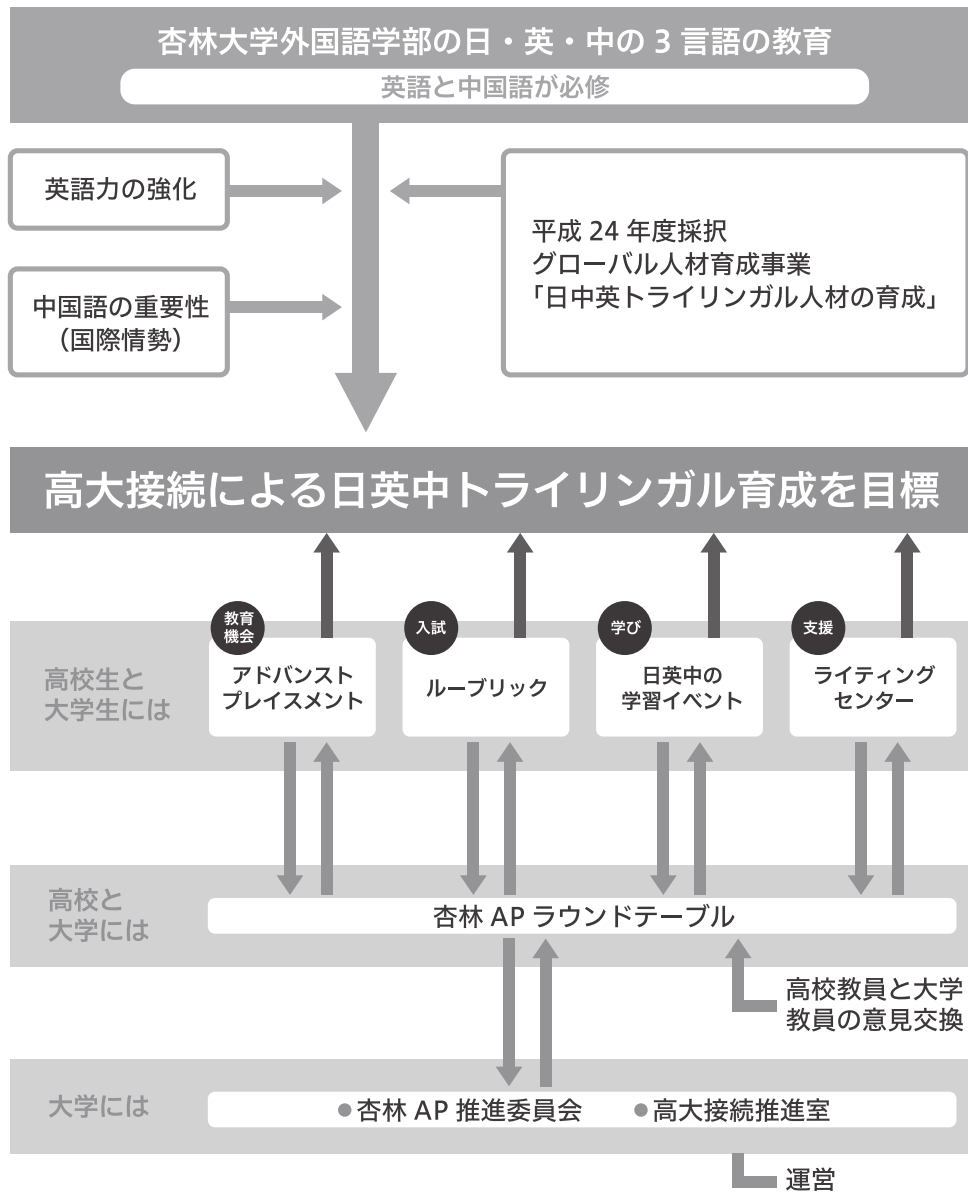
高校側と定期的に意見交換する「杏林 AP ラウンドテーブル」を開催して、高校側の要望を取り入れている。

学内的には、学長、4学部長等が委員となっている杏林 AP 推進委員会および実務と事業の実質的運営を取り仕切る高大接続推進室（高大接続推進委員会を開催）で、事業の方針、運営、成果の検証などを行い、事業をより良く推進している。

こうした事業の柱となる事業項目の概要を以下のようにイラストとしてまとめた。



「日英中トライリンガル育成のための高大接続」



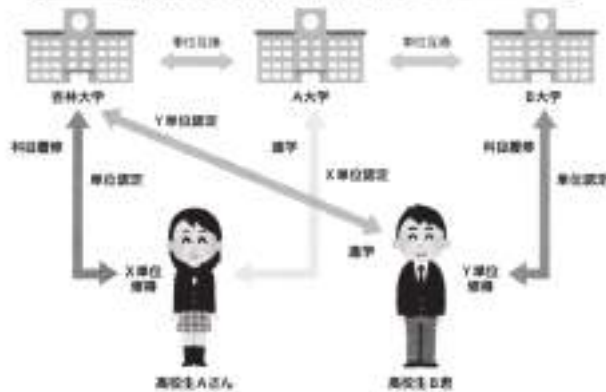
アドバンストプレイスメント (AP)

Advanced Placement

高校生が高校在学中に大学の授業を受け、
その単位が入学後に認定される制度

全国では広く
行われている

杏林大学が目指す複数大学とのAP



9校の高校と杏林大学がAPに関する
覚書を締結

校美林大学・共愛学園前橋国際大学・
創価大学と杏林大学がAPに関する
単位交換の
協定を締結

協定大学募集中

6名の高校生が平成29年度のAPを
履修した。その内2名が入学。

ルーブリック

RUBRIC

学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの

多面的能力 主体性・多様性・協働性・課題発見解決力

語学力 話す(対話力)・話す(プレゼン力)・聞く・書く・読む



高校生が自己評価

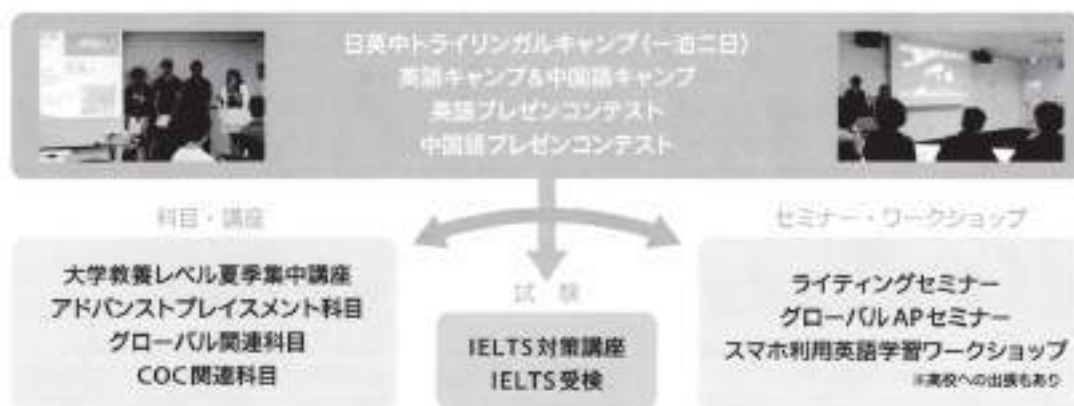
平成30年度AO入試で選抜に使用した

ルーブリックの実物がございますので、是非ご覧ください

アクティブラーニング

Active Learning

高度な「問題発見力」「問題解決力」「自己表現力」を総合的に身に付けたグローバル人材を育成します。



高校生と大学生がお互い刺激し合いながら学ぶ

ライティングセンター

Writing Center

連携高校の高校生や大学生が自分たちの書いた英文について
教員や学生チューターから、添削指導を受けることができる学習施設です

概要 ライティングセミナー(高校生・大学生向け)の開催

目的 留学に必要な英語ライティングの指導
英語レポートの作成・添削

対象 大学生・高校生

内容 1対1 又は グループで行います

要予約
申し込み
のみです

